

北社会ニュースオ81号

2012年5月29日

発行者：鈴木壮夫

(1) 本日開催 第298回 北社会

講師：原 芳道 氏 (高11回) スメープジャパン(株) 代表取締役社長

テーマ：“藻から石油とオメガ3 水田を油田に替えられるのか”

原さんとのお付き合いは私が向山小から上杉小に転校した4年生の時からです。原さんの家は「魚屋」私の家は「製麺業」、北一番丁のすぐ近くでした。原さんは私の家の前のNHKによく来られていました。児童劇団(?)のメンバーと母が知り、母からよく原さんのように「ソープも頑張りなさい!」とよく言われた。先週、102才の母に面会時、「友達の原君を覚えているか?」と聞いたら、にっこり笑って「わかるよ!」でした。本日のテーマに挑戦している同期の原さんに熱いエールを送り拝聴致します。

(2) 仙台二高・同窓会総会 開催のお知らせ

7月7日(土) 午後4時半 仙台・江陽グランドホテル 会費：6000円

特別講演：講師 マーティキーナート氏 午後5時、終了後懇親会

参加申し込み先：同窓会事務局 ☎022-221-5651 FAX 022-221-5686

(3) 7月開催予定の第300回北社会についてお願い

北社会が開始されたのは昭和50年(1975年)の9月で37年も前のことです。青山史朗大先輩からお便りをいただき“北社会第300回に期待しています。この記念例会だけはぜひ参加させて下さい”とお書きになっておられます。和賀井先生からも参加して新しいスタートを祝いたいとお気持ちが届いております。どのような例会がふさわしいか、皆さんアイデアその他をご提案いただきたくよろしくお願い致します。

(先月は天候不順にて参加者が少なく、今月、再提案致しました)

(4) 仙台二高、第23代校長 渡邊幸雄氏(高26回生)

5月12日(土)夕方に高11回の同期会が仙台・江陽グランドにて開催され、参加しました。午後からの日帰りで仙台滞在約4時間と忙しく疲れましたが故郷にはいやされました。当日は化学関連の国際会議に天皇、皇后両陛下も臨席され、中心部は大規模な交通規制が敷かれておりました。そして、対一高定期戦の日でもありました。私達の同期会の隣室では応援団のOB会が開催され、そこに参加していた新しい校長がご挨拶に来られました。4月下旬、先月の講師・立花貴氏(高40回)の新著「心が喜ぶ働き方を見付けよう」をお送りしていたので、渡邊校長とも一言二言話しができました。その内、時間の余裕を生み出せるようになりましたら、北社会にも来てくださいますようお願いしました。

(5) 来月、第299回北社会

講師、開催日は来月早々ご連絡致します。

戦後67回目
定期戦
野球

仙台一 2年ぶりV

仙台二 追い上げ及ばず

戦後67回目の仙台一高が7-6で競り勝ち、2年ぶりに優勝した。戦後の優勝回数は29回ずつで並び(9引き分け)、通算成績は仙台一の63勝69敗2分け。

仙台一は1-1の2回、相手投手の4四死球などによる連続押し出しで2点を勝ち越すと、4回の好機も適時打や犠飛で加算。仙台一は終盤あと一歩まで粘ったが、及ばなかった。

仙台一 010000023006
仙台二 1203000103076
(一) 吉田 安彦
(二) 本、佐藤 康波

中、多くの観客が伝統の一戦に声援を送った。仙台一OBで若林区の自営



白熱したプレーに声援を送る仙台一高の応援席

業三好太道さん(37)は「最後まで手に汗握る定期戦らしいナイイスゲーム。勝ってくれたのでこ

の一年は楽しく過(せま)すと話した。

仙台一は、東日本大震災の被害を受けた若林区荒井の練習グラウンドが3月から使えるようになったが、ネットや照明は壊れたままだという。

主将の松栄直人さん(17)は「厳しい環境の中で力を付け、きょうはお互いが最後まで全力プレーを買った。夏の勝利を目指す」と誓った。

高11回・同期の佐々木保文君は二宮洋菜と同様に知人を頼りて米国・ロサンゼルスに移住した。その後、久しぶりの帰国、54年振りに定期戦に行けた。下高の応援団は当時の評定河原での伝統を維持して113」との感想でした。